

2025 エネ環地研成果発表会

地域資源を示す・守る・活かす多彩な取組を紹介！

エネルギー・環境・地質研究所が取り組んできた、研究開発・調査・支援事業の成果を公開し、広く皆様にご活用いただくため、成果発表会を開催いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時 5月22日(木) 23日(金) 【開場 9:30】

会場 かでる2・7

■ 口頭発表:かでるホール

■ ポスター発表・成果品展示:展示ホール

主催 道総研 エネルギー・環境・地質研究所

詳細のご確認・お申込は、当所のホームページからお願いします。
申込締切 5月20日(火) 定員(会場400名・オンライン500名)

<https://www.hro.or.jp/eeg.html>

参加無料

オンライン同時開催

口頭発表セッションごとに
CPD受講証明書を発行します



特別セッション 5月22日(木) 13:00~15:10
『地域を支える水資源情報の整備にむけて』

開催趣旨

現在、水資源は「水循環基本法」や「北海道水資源の保全に関する条例」などが制定され、その重要性が一層高まってきています。水資源は地域の人々の生活や産業を支えている重要な資源であるにも関わらず、その情報の多くが認知されていません。本セッションでは当所が作成した水資源情報を「見える化」したシステム「水資源Navi」を紹介するとともに、地域課題の一つである水道事業再編・支援について紹介し、地方自治体の水道担当者、さく井協会の方を招き総合討論を実施します。

特別セッション プログラム

- あいさつ 道総研 エネ環地研 地域地質部長 川上 源太郎
- S-1 水資源情報の整備に向けた取り組み 国土交通省 水管理・国土保全局 佐藤 直哉
- S-2 北海道の生活用水供給の現状と運営・再編支援について .. 道総研 北方建築総合研究所 牛島 健
- S-3 地域の水資源情報を整備「水資源Navi」について 道総研 エネ環地研 森野 祐助
- S-4 総合討論(パネルディスカッション)

お問合せ



地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所

研究推進室 研究情報グループ TEL:011-747-2420 FAX:011-737-9071 E-mail:eeg-moushikomi@ml.hro.or.jp

発表プログラム・タイムテーブル

5月22日(木)

開会あいさつ(10:00~10:05) エネルギー・環境・地質研究所 所長 山越 幸康

●資源エネルギー部 口頭発表(10:05~11:05)

- O-01 温泉と一緒に湧き出る天然ガスで発電!? ~温泉付随ガスで小型ポータブル発電機を動かす試験研究~ 藤澤 拓己
O-02 EV蓄電池で再エネ電力を地域利用! ~業務車運用ビッグデータの解析でEV導入を支援~ 林田 淳
O-03 温泉資源の適正利用に向けた見える化の提案! ~小清水町・音更町における現況調査~ 岡 大輔

●資源エネルギー部 ポスターセッション(発表者による説明時間 11:05~12:00)

- P-01 中小規模濃縮工程への超省エネシステム導入に向けて 北口 敏弘
P-02 農産物を地産で使いこなす! それ、ゴミではなく貴重な燃料資源です! 小倉 貴仁
P-03 再エネ・V2Xを遠隔監視・安定運用しよう! 多奈田 紘希
P-04 施設のエネルギー需要の見える化と省エネ技術の導入検討 ~地熱・温泉熱アドバイザー派遣事業~ 白土 博康
P-05 温泉付随ガスの利活用に向けて ~道内の温泉付随ガスに関する情報整備~ 林 圭一
P-06 火砕流堆積物は、何℃だったのか?どれくらいで冷えたのか? ~炭化木を使った新しい推定手法の検討~ 中野 敬太

●地域地質部 ポスターセッション(発表者による説明時間 12:00~13:00)

- P-07 豪雨による斜面崩壊ハザードマップの試作 ~平成28年8月北海道豪雨災害を踏まえた日勝峠周辺の事例~ 仁科 健二
P-08 水中音響調査による海の見える化 ~海底地形・底質・地質構造データを統合した3次元地質モデルの構築~ 丸山 純也
P-09 十勝岳火山群、ヌツカクシ火口域の火山体形成史 藤原 寛

●特別セッション「地域を支える水資源情報の整備にむけて」(13:00~15:10)

特別セッションの詳細は表面をご確認ください。

●地域地質部 口頭発表(15:30~16:10)

- O-04 北海道内の活火山の活動状況 ~長期的な温泉・噴気観測からの現況把握~ 高橋 良
O-05 海底景観の3D可視化への挑戦! ~高解像度音響調査により新たに増えてきたもの~ 内田 康人

5月23日(金)

●循環資源部 口頭発表(10:00~10:40)

- O-06 電解酸化法は陸上養殖の水処理に使えるか? 佐々木 雄真
O-07 河川マイクロプラスチックの分布実態の把握に向けた取り組み ~札幌市内河川での調査事例~ 朝倉 賢

●循環資源部 ポスターセッション(発表者による説明時間 12:00~13:00)

- P-10 ガラス廃材を有効利用するために ~異物の影響評価と金属分離技術~ 明本 靖広
P-11 泥状廃棄物から水を抜く ~電気浸透脱水技術~ 明本 靖広
P-12 下水汚泥と地域資源の混合メタン発酵に向けて ~農水産残渣の利用可能性~ 牧野 彩花
展示 汚泥の電気浸透脱水の模型(ポスター発表 P-11関連) 明本 靖広

●環境保全部 口頭発表(11:00~12:00)

- O-08 道内天然湖沼の水環境の現状と長期変化を解き明かす 木塚 俊和
O-09 気候変動による猛暑の変化と熱中症リスク ~暑さから命を守るために~ 大屋 祐太
O-10 環境基準からみた北海道の大気環境の現状と課題は? 秋山 雅行

●環境保全部 ポスターセッション(発表者による説明時間 12:00~13:00)

- P-13 阿寒湖の長期モニタリングから見てきた水環境の変化 木塚 俊和
P-14 屈斜路湖の長期間の酸性度変動について 山口 高志
P-15 動画「未来の天気予報 北海道2100 猛暑」を支える科学的根拠 鈴木 啓明
P-16 線状降水帯を構成する雨雲と環境場による体系化に向けて 大屋 祐太
P-17 河川水中の化学物質濃度の推定に向けて 田原 るり子
P-18 大気汚染物質オゾンの高濃度事例に関する要因解析 大塚 英幸
展示 「北海道の湖沼」と「未来の天気予報」PCデモ 五十嵐 聖貴

●自然環境部 ポスターセッション(発表者による説明時間 13:00~14:00)

- P-19 捕獲情報を見える化する ~エゾシカ現況マップの開発~ 稲富 佳洋
P-20 海浜植生再生試験におけるハマヒルガオの回復パターンと遺伝的多様性 綱本 良啓
P-21 水晶体を用いたヒグマの食性履歴の復元 三浦 一輝

●自然環境部 口頭発表(14:00~15:00)

- O-11 シカ肉の品質基準を作成し、生体輸送の影響を評価する 亀井 利活
O-12 北海道における荒廃農地の分布状況と生物相の把握 玉田 克巳
O-13 最新技術で謎を解く:動物装着機器を用いた陸上草食獣の移動生態研究 伊藤 健彦

閉会あいさつ(15:00~15:05) エネルギー・環境・地質研究所 副所長 久保 貴司